

# “運管試験対策講座、や”法令試験講習会、で 運送事業をバックアップ



「物流業は頭を使わなければならぬ産業になった」と語るのは、「合格率九〇%以上の運行管理者試験対策講座」を実施する武部総合行政事務所（大阪市中央区）の武部宗晴所長。「単なる運び屋ではダメ、体質改善して提案力などを身に付けなければ」という。

一方、「燃料価格の高騰は限度を超えている」と指摘。「万一、物流が止まると日本経済がパニックになる。血流が止まって壊死してしまう状態に陥る」とし、「例えば、軽油価格が落ち着くまで高速料金を半額にするなど、国や政治家は運送事業者のためにもっと動いて欲しい。さらにトラックメーカーや燃料メーカーなども協力して、適正運賃を収受できるような働きかけてもらいたい。われわれ行政書士会も啓蒙活動に取り組んでいく」と、幅広いバックアップが必要と説く。

武部総合行政事務所は「受講者の九〇%以上が本試験を合格している」という運行管理者試験対策講座を、七月二十日の名古屋会場からスタートさせる。札幌から福岡まで、全国各地で全十四回の開催を予定。受講料は一万二千元。なお、同講座は八月二十四日の本試験を申し込んでいない者は受講できない。また、七月から新規事業者が許可申請をする際に法令試験が実施されることを踏まえ、同事務所は対策講習会を開始する。武部氏は「規制緩和で安易に開業できるようになったが、運送事業のコストがどれだけかかるか把握しておらず、資金が足りず安全に手が回らない事業者も少なくない。（講習会では）その辺りの実情や、もっとも効率の良い方法を提案したい」と話す。

問い合わせは、電話〇六（六九一〇）三三九九番。HPアドレスは、<http://take-take.jp>（中野秀一）

「単なる運び屋ではダメ」と熱く語る武部所長